発行元　社会福祉法人　富翔会
〒584－0014
大阪府富田林市川面町
2－5－19
TEL0721－20－5288
FAX0721－25－2060
発行日　2014/ 6/17
第25号

法人決算報告
富翔会平成25年度

平成25年度収入の大半であります、利用者さんの介護給付費収入は、わくわく富田林・まんてん全体としては、前年度より約1，250万円増加し、1億5，716万8千円となりました。

法人全体の収入総額は1億8，255万4千円、支出総額は1億5，812万6千円で、収支差額は2，442万7千円となり、前年度より279万円の増額となりました。

この増加の主な要因としましては、平成25年4月より新規通所された方をはじめ利用者の方の通所率の向上をはじめ新設された加算制度等による給付収入が増加したこと及び支出面での精査による支出経費の節減に努めたことによるものです。

今後は、利用者の方が地域の中で、将来生活を安心して過ごせる環境整備（グループホーム等）の実現に向けて、将来事業検討委員会等の提言を踏まえて取り組んでまいります。

平成25年度法人決算収支報告　（事業活動収支計算書）

収入	○福祉事業活動収入（経常活動含む）（単位：千円）	
	自立支援費収入	157,168
	寄付金・補助金収入等	7,560
	○授産事業活動収入	3,312
	○引当金・国庫補助金収入	12,315
	○事業活動外収入	77
	○特別収入	2,120
	収入合計	182,553
支出	○授産事業支出（経常活動含む）（単位：千円）	
	授産事業支出	3,626
	減価償却費	327
	○福祉事業活動支出（経常活動含む）	
	人件費	95,635
	事務費	17,747
	事業費	21,047
	減価償却費等	13,895
	引当金繰入	3,769
	○事業活動外支出	283
	○特別支出	2,120
	支出合計	158,449
	今期事業活動収支差額	24,103

なお、現在戸建て住宅を借用して事業を計画しているところですが、個人住宅から共同住宅への用途変更手続きにおいて、関係法令に基づく必要性があり関係機関との協議をしているところで、暫く期間を要するものと考えられますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

遊びリテーション大会（4／29）
誰もが楽しく参加しやすい「遊びリテーション大会」を実施するために

富翔会では平成19年度に「スポーツフェスティバル」を始めましたが、7年経過した現在は、スポーツにこだわらず、運動やレクリエーションを遊び感覚で楽しめるようにと「遊びリテーション大会」と名称を変更して、これまでどおり向陽台小学校の体育館をお借りして再スタートしました。

大会の運営に当たりましては、利用者さん一人ひとりの障がい特性を十分に踏まえながら、行事内容が利用者さんの負担にならないように、特に配慮しております。

また、昨年より利用者さんの家族の方々にも一緒に楽しんで頂ける様にとプログラムにフォークダンスも取り入れました。

トイレでの排泄介助や、情緒的不安定になった際の対応場所

など継続課題と感じられる部分もありましたが、全体としてゆっくりとした流れで利用者さんとご家族が一緒に楽しめるプログラムを実施できたのではないかと思います。

当日の午後は、施設に帰って通常通りの活動を行いましたので、利用者さんの生活リズムを崩すことなく、比較的落ち着いた流れで過ごすことができました。

これまでの一日行事から、今回は午前中のみで終わったことにより、参加種目が少なくなり物足りなかったと意見を出された利用者さんもおりますので、更に利用者さんのニーズに合った行事内容について、今後も検討する必要があると考えています。

フォークダンス

終業パーティー（就B）

現在のグループになって3回目の終業パーティーは、利用者さんの協議により、ボーリング班とカラオケ班に分かれて楽しむという事となりました。

それぞれの班の様子は、写真の様に皆さん楽しく過ごされていました。

今回は、この行事の様子ではなく、実施までの過程について報告させて頂きたいと思います。

終業パーティーの様な、当グループ単独での行事の際は、利用者さんの計画能力の向上や、自身の希望や意志を他者に伝える能力の向上を目的として、3年程前から利用者委員会主催のミーティングにて、活動内容について協議をして頂く様にしています。

この支援を開始した頃は、なかなか意見が出ない状況が目立っていましたが、機会を重ねる度に、自分自身の考えをうまく相手に伝え、様々な意見の中から活動内容をみんなでまとめるという事に慣れてこられた様子です。

当初は数日を要していた話し合いも、今では半日程度でまとめる事が出来る様になっています。

最近では、職員が行事について話し合いを行う前に、利用者さん同士で積極的に行事について話し合いを行っている様子も見られています。

こうした取り組みで、自分達の生活や活動は自らで考え、楽しい人生を形作っていける様に繋げていければと考えています。

ボーリング

カラオケ

外出活動 わくわく生活介護

「わくわく富田林」の「生活介護グループ」では、昨年度より、利用者さんが不足していると思われる社会経験を積んでいただくために、概ね3ケ月毎に色々なところに出かけて経験して頂く活動に取り組んでおります。

これまでの取り組みとしましては、買い物として「イオンモール橿原アルル」、電車の利用として「近鉄の藤井寺駅」、リラクゼーションとして「ラッテ高松」（牛の放牧場）を利用させていただきました。

買い物につきましては、同じ店舗を利用することにより、慣れによる効果が生じることがわかりましたので、当分の間は、これまで利用したところを継続して利用する方法を考えております。

このような活動の結果、買い物につきましては、少しずつではありますが、利用者さんは、緊張が和らいで買い物を楽しま

れるように変わってきております。

更に効果を上げるために、今後しばらくは、この買い物の仕方にウエイトを置きながら、他の交通機関での外出等の活動も取り入れたいと考えています。

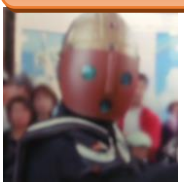
買い物支援（イオン）

リラクゼーション
ラッテ高松

新職員の紹介

自己紹介文

二口（ふたくち） 修（おさむ） 支援員



私は、ヒーローショーの悪役で世界征服を狙っています。

今までは、電気工事や舞台関係、バスの運転、ガイドヘルパーなどの副業や、クリスマスや七夕などのイベント時期には、「パンダ」の着ぐるみで障がい者施設を十か所ほど巡るボランティア活動をしていました。

今年の４月からは富翔会で支援員として働かせてもらうことになりました。これまでの経験を生かしつつ、ボランティア活動で培った笑顔のお面を被って利用者さんと共に頑張らせて頂きます。

その実体は、44歳彼女いない暦２年の独身男であります。

こんな私ですが、宜しくお願いします。

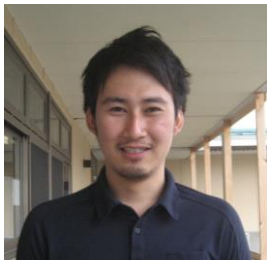
自己紹介文

初めまして。

この度、社会福祉法人富翔会でお世話になることになりました、理学療法士の林慈晃です。

私自身、小学校から始めたサッカーを通してチームプレイの重要性を学びました。リハビリにおいてもご家族の方、他職種の方と連携をとり、情報を共有し、１人１人の利用者さんに対して、チーム一丸となって接していくことが重要であると考えます。

利用者さん、スタッフの皆さんと共に楽しく実りのあるリハビリの時間を過ごせたらと思いますので、これからもどうぞ宜しくお願いします。



理学療法士
林（はやし） 慈晃（しげあき） 先生

報告等

利用者さんの入退所について

○新規利用者

・安藤生弥さん

みんなと一緒に
頑張ります！

○退所者

・山岸崇格さん

引越しにより、４月４日付で退所されました。

・中川道代さん

他施設へ入所される事になり、６月11日付で退所されました。

・岡田さん

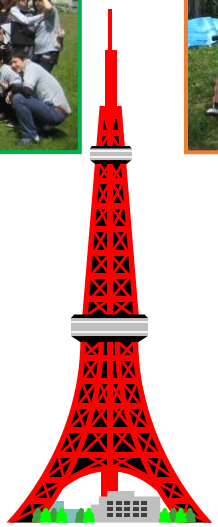
他施設へ入所される事になり、５月９日付で退所されました。

写真のコーナー

今年もお花見を楽しみました

まんてん

わくわく富田林



あべのハルカス

遊びリテーション大会（４月２９日）